

個別最適な学びについて ～しながわ学びのイノベーション～

◆個別最適な学びとは … 「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念

指導の個別化（指導者の視点）

○一人一人の学びの状況を見極めて、その児童・生徒に合った指導を行う。

- 少人数・習熟度別指導の充実 **指導助手** **区費講師**
 - ・より少人数で、一人一人の特性や学習進度に応じた指導を行う。
- 授業の効率化を図る
 - ・プリント類のペーパーレス化
 - 配布時間や書写する時間の短縮 **ロイノートスクール** **Teams**
 - ・学習ドリルで個の習熟段階に応じた課題に取り組ませ、学習内容を定着させる。 **eライブラリ**
 - 効率化によって作られた時間を個性化・協働化の学びに利用
- 個々の思考を見取り、必要に応じて個別にアプローチしたり、全体で共有したりする。 **ロイノートスクール**
- 学習履歴を元に、一人一人の課題と学習方針を決める。 **eライブラリ**
- 地域未来塾で、放課後に学習のフォローをする。 **Qubena**

学習の個性化（学習者の視点）

○課題に対して、児童・生徒が自ら学び方を選び、学びをデザインする。

- 教科書・資料を読んだり、先生の話の聞いたりして、疑問に思ったら、すぐに調べる。質問する。 **インターネット**
 - 自分自身で問いを立てる。課題をつかむ。学習者から始まる学び
- 課題に対して自分で学習方法を決める。自分の方法でまとめて、児童・生徒同士で伝え合う。
(例) 3年社会：「店ではたらく人と仕事」 **ロイノートスクール** **Zoom** **Teams**
 - ・スーパーマーケットの工夫について自分で調べる方法を選び、調査。
(インターネット・電子書籍・本・雑誌・現地調査・インタビュー等)
 - ・まとめ方・発表の仕方を自分で選んでまとめる。発表する。
(新聞・ポスター・動画・イラスト・劇 等)
- 家庭学習は、自分で課題を決めて学習を進める。(自主学習)
 - ・ **eライブラリ** でテーマ別学習、ページ・単元指定の学習

個別化・個性化と協働化

○個々の学びが、児童・生徒同士、多様な他者をつながることで、質の高い学びを生み出す。1 + 1が2以上になる学び。

- 共通の課題に取り組んで、教え合い、学び合う。
(例) 算数・数学の問題演習、グループによるプロジェクト学習(Project Based Learning:PBL)
- 個別に調べたことを共有し、議論・フィードバックしあうことで、さらに調べたことや考えを深める。
(例) 3年社会：「店ではたらく人と仕事」

個々に調べたスーパーマーケットの工夫を発表し、児童同士で感想交流・質疑応答・情報提供を行う。(他者との対話)

→知識の共有・新しい視点の獲得・新たな問いの発見 →さらに調べ、思考することで学びが深まる。(自分自身との対話)

新しい学びの
スタイルの実現

「未来を切り拓く児童・生徒」の育成に向けた、質の高い授業への改善